

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	奥出雲町立横田中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な 学習の時間	ふるさと再発見・ふるさと紹介	奥出雲町魅力化コーディネーター 地元NPO法人(仁王門プロジェクト) 岩屋寺 広報誌 パンフレットなど
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと奥出雲の歴史・文化・産業などをより詳しく知って、魅力を再発見する。 ・自分の言葉でふるさと奥出雲の紹介をすることができる。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>奥出雲町の岩屋寺には、仁王像がオランダに流出した歴史がある。この度、オランダ人彫刻家による仁王像再生プロジェクトによってブルー仁王像として再現された。2年生は、岩屋寺を散策したり、地域の詳しい方から話を聞いたりして、奥出雲について再発見した。また、イエックさんとの交流を通して、奥出雲に対する思いも新たにしたい。これらのつながりから、大阪・関西万博オランダ館での奥出雲紹介の機会を得た。地元事業所でのリハーサルを経て、ブラッシュアップし、大阪・関西万博では、奥出雲のことをクイズ形式で多くの方に知ってもらおう発表をした。</p>			
<p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に岩屋寺に行き、仁王像の歴史などについて学んだり、奥出雲とオランダのつながりや仁王像復活に対する人々の思いを知ったりし、ふるさとの魅力を再発見し、ふるさとへの愛着を形成する機会とした。 ・大阪・関西万博オランダ館でふるさとのことを語る活動を通して、ふるさと奥出雲のことを知ってほしいという気持ちを高め、積極的に他者と関わるように計画した。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな国の人や初めて奥出雲と出会う人に興味を持ってもらうために、わかりやすい伝え方や見せ方を工夫した。 ・外国から来られた方にもわかってもらえるようにするために、日本語と英語で紹介するようにした。 			
			
			
<p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪・関西万博オランダ館での発表を通して、奥出雲と世界とのつながりをより感じる事ができた。また、プロジェクトに関わる方の思いを身近に感じる事ができた。 ・町外・県外の方は、奥出雲のことを知っている人が少ないという現状を知り、自分たちがふるさとに何ができるのかを考える機会になった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちから積極的に他者に関わるようになった。 ・奥出雲のことを全く知らない方に対し、どのようにして興味をもってもらえばよいかを考えることで、相手意識が高まった。 			
			
<p>4 課題や今後の展望</p> <p>現在は、総合的な学習の時間を中心にふるさと教育の取組を行っている。今年度はこのようなダイナミックな活動を通してふるさとを考える機会を得たが、このような機会はなかなかない。来年度以降は、日常の学校生活の中で、継続的にふるさと教育に取り組んでいくために、教科とつなげる、小学校での学びとつなげる、今ある行事を工夫するなどして、生徒の学びの根幹を形成していきたい。</p>			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。